

3. 水需要の見通し

3-1. 給水人口の見通し

深谷市の人口は、近年横ばいが続いています。しかし、少子高齢化の影響と、人口流出が人口流入を上回るにより、今後は緩やかに減少すると見込まれます。したがって、給水人口も同様に減少傾向になると考えられます。

深谷市人口ビジョンの推計によると、令和 7 (2025) 年度には 143,543 人となる見込みです。

これに基づき将来の給水人口を予測すると、令和 7 (2025) 年度には、140,529 人となる見込みです。《予測値は、深谷市上下水道事業経営戦略より算出》

過去の給水人口 (平成 18 年度) (2006 年)	現在の給水人口 (令和元年度) (2019 年)	将来の給水人口 (令和 7 年度) (2025 年)
144,091 人	140,699 人	140,529 人

3-2. 給水量の見通し

給水量は、一部企業による自己水源から水道への転換や花園IC拠点整備プロジェクト、新たな工場立地などから、一時的に増加すると期待されますが、長期的には、企業や店舗などの業務用の使用水量や、家庭で使用する 1 人あたりの水量が減少傾向になる見込みです。主な、要因としては、給水人口の減少や節水機器の普及などが挙げられます。

したがって、給水人口の減少とともに今後も給水量が減少していくと考えられます。

《一日最大給水量の予測値は、年間配水量の減少率 0.995 を勘案して算出》

当時(平成 18 年度) (2006 年)の一日最大給水量	現在(令和元年度) (2019 年)の一日最大給水量	将来(令和 7 年度) (2025 年)の一日最大給水量
66,561m ³ /日	55,553m ³ /日	53,886m ³ /日 (減少率 0.995)